

社会学II(2)

- 第10回 社会学の応用 (4) 社会保障の効果 (2) ——内閣府「選択する未来2.0」講演資料 (PDF配布)
- 第11回 小括討論
- 第12回 社会学の応用 (5) AIがもたらす未来 (1) ——PDF「〈不可知性〉の社会」244～260頁
- 第13回 社会学の応用 (6) AIがもたらす未来 (2) ——PDF「〈不可知性〉の社会」260～272頁
- 第14回 総合討論——これからの社会をどう生きるか、どう変えるか
- 第15回 フィードバック (詳細は授業中に説明)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

「ほぼ毎回の確認テスト」(50点)と「毎回の討論におけるパフォーマンス」(10点)と「毎回の小レポート」(40点)により、到達目標の達成度について評価する。

[教科書]

使用しない

PandAサイトで講義資料を配布する

[参考書等]

(参考書)

柴田悠『子育て支援が日本を救う——政策効果の統計分析』(勁草書房) ISBN:4326654007 (社会政策学会の学会賞を受賞。日経新聞・朝日新聞・読売新聞などで書評・インタビューが掲載。)

柴田悠『子育て支援と経済成長』(朝日新聞出版) ISBN:4022737069 (朝日新書606。日経新聞・朝日新聞・読売新聞などで書評・インタビューが掲載。)

毎回の配布資料でも参考文献を紹介する。

(関連URL)

<https://sites.google.com/site/harukashibata/profile>(教員紹介のページ)

[授業外学修(予習・復習)等]

予習は、次回に扱う文献が指定されていれば、それを事前に読んで、「確認テスト」をPandAで受験しておくこと。文献が指定されていなければ、授業内容と関連する本やニュース記事、ドキュメンタリー番組などをできるだけ通読・視聴しておくこと。

復習は、毎回の授業内容をふりかえり、関連情報を調べたうえで、「小レポート」をPandAで提出すること。不明点については、講義中かPandAフォーラムにて教員に質問すること。

毎回の予習・復習の時間配分は、予習120分、復習120分を目安とする。

[その他(オフィスアワー等)]

履修人数をアクティブラーニングに適した人数に制限する。

また毎回、Googleスプレッドシートを用いた意見交換を行うため、Googleスプレッドシートの閲覧・入力がしやすい端末(ノートPC・タブレット等)を毎回持参すること。

[主要授業科目(学部・学科名)]

総合人間学部、総合人間学部